

除菌
脱臭



安全に除菌・脱臭できる 濃度管理機能付きオゾン発生装置

発生体の耐久性UP!! (回転電極特許取得済み) ※5
オゾン発生体が汚れない濃度計付きプラズマオゾン発生器

YSくりん YS1000-OZF(S)

オゾン濃度を
自動制御
だから**安全**

発生体の
耐久性
がバツグン

最強の
脱臭力
発生量 1g/h



高性能フィルター採用で ※オプション
今まで使用できなかった
浄化槽などの過酷な環境でもご使用いただけます!



YSくりん YS2000-OZF(S)-T
YS1000-OZF(S)-T

安全かつ効果のある装置を作りました。
これからのオゾン発生装置の世界標準です。

付着菌まで効果があるのはオゾンだけです。

「市販の空気清浄機の謳う除菌効果は、一義的にはそれらの機器が放出している特殊物質というより、それらが同時に放出しているオゾンによる殺菌効果で十分説明可能であること、が明らかになった。」

独立行政法人国立病院機構仙台医療センター臨床研究部ウイルスセンター
西村 秀一氏論文 「感染症学雑誌ホームページ」より抜粋

本当に安全ですか？

従来のオゾン機器による安全性の問題

オゾンは有人下では濃度を0.1ppm以下に制御する必要があります。

強力な脱臭・除菌力のあるオゾンは高濃度で長時間使用すると人体に悪影響を及ぼします。

濃度
管理

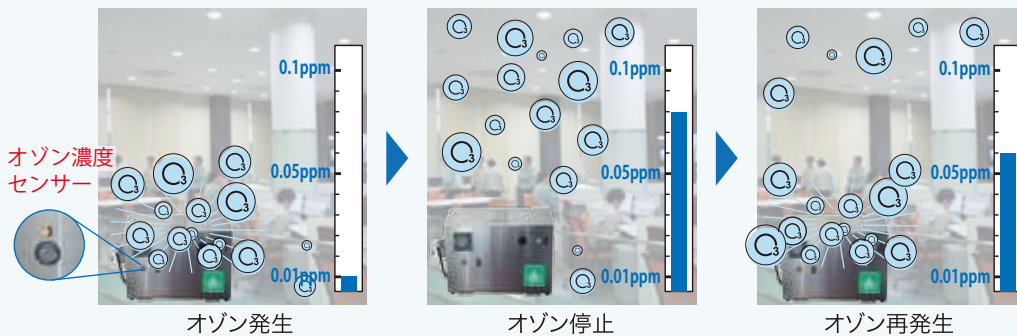
安心してご利用いただくために

世界一安全な「セーフティ機能」

【オゾン濃度計】

オゾン濃度が0.08ppmになるとオゾン発生を自動で停止し、0.06ppmになると再発生します。

※上限値0.08ppm、下限値0.06ppmに設定した場合。設定は上限を0.1ppmまで変更できます。



※オゾンは空気より重いため、お部屋の上方に設置して下さい。
※0.01ppmでもじっくり時間をかければ除菌は可能です。



【連動制御運転】

3台接続すれば、濃度管理付 3g/h 注1 のオゾン発生器に早変わり



1台の濃度センサー搭載機を専用ケーブルで連結して機器の運転を制御できます。
※親機はYS1000-OZFS・YS1000-OZFS-T・YS2000-OZFS-T
注1) YS1000シリーズを3台使用した場合

除菌
防ダニ
ホルムアルデヒド分解
花粉分解

他にもこんな効果が

こんな場所におすすめ

人のいるところでも大丈夫！！

幼稚園

オフィス

喫煙所

病院待合室

ごみ置き場

浄化槽建屋



オゾンは発生し続けますか？

メンテナンスの問題

業界初

放電部に異物が付着（固着）せず・堆積しにくい

メンテナンスが楽チン！！

知っていましたか？

時間の経過とともに、オゾンを発生する心臓部の「オゾン発生体」にはいろいろな異物が付着・堆積してしまい、1週間～1ヶ月で水洗いやメンテナンスをしてあげないと

「**オゾンを発生しなくなってしまう**」ことを。。(>_<)

YSくりん「YS1000、2000シリーズ」は、心臓部に移動回転方式発生体（特許）を採用しているので異物の付着・堆積がほとんど無く、放電部のメンテナンスは3～5年に一度行えば大丈夫です。※5最終ページ

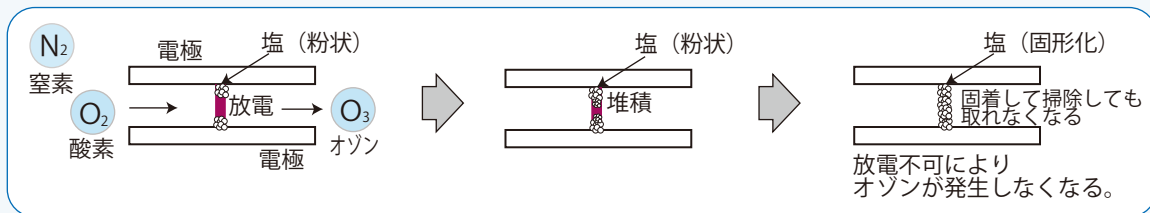
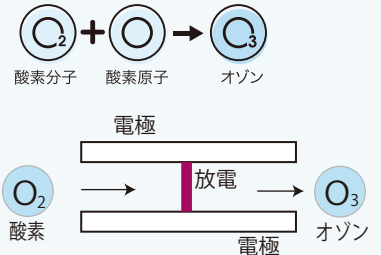


オゾンの出来る仕組み

オゾンを生成する主な方法に放電方式（固定）があります。酸素分子を放電エネルギーで酸素原子に分解（乖離）させてオゾンを生成します。

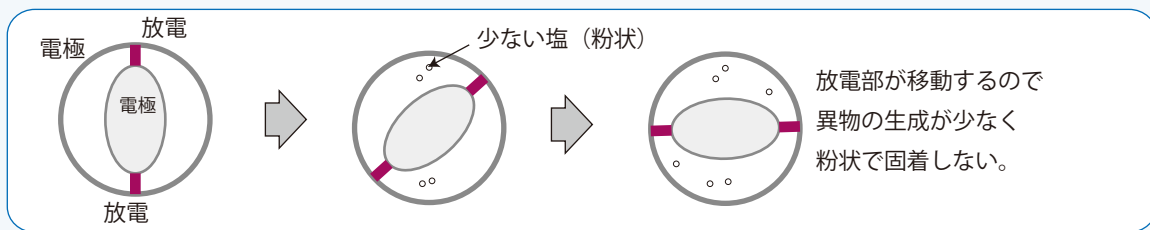
固定放電方式の発生体の問題点

この時、問題になるのが空気中に78%含まれる窒素です。オゾン生成時にこの窒素と湿気が反応して白い粉状の異物（塩の一種）が少量ですが生成されてしまいます。定期的いきちんとお掃除をしないとオゾンを発生しなくなってしまうのです。また、長期のお掃除を怠ることにより固形化してしまい固着することでお掃除してもきれいに取り除くことが出来なくなってしまいます。



回転放電方式の発生体を採用

弊社ではこの異物の生成を極力抑えることのできる回転放電方式の発生体を採用しています。



オゾン除菌のメリットと現状

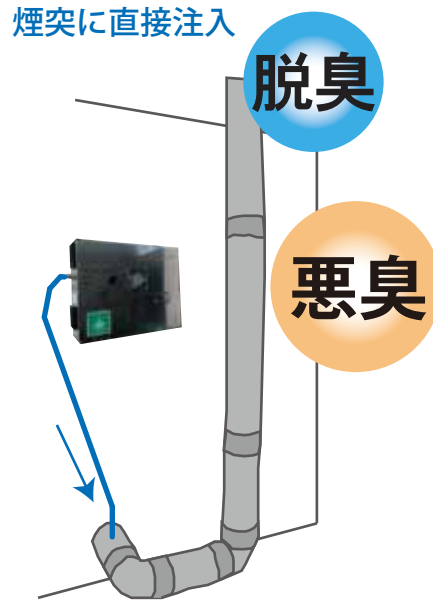
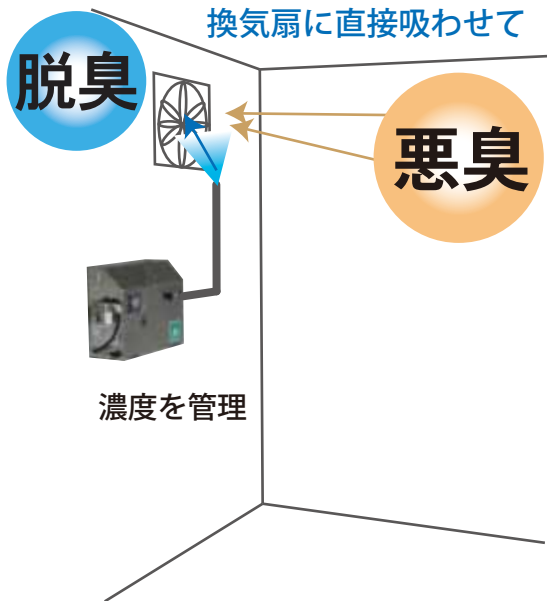
オゾンは強い除菌・脱臭分解力を有しています。除菌に関しては細菌のDNAを壊し分解するため、耐性菌を生みません。脱臭に関しても匂い成分そのものを分解します。酸素からできているため役目を終えれば酸素に戻り残留しないので無害で、食品の除菌にも使用されています。用途としては食品工場の浮遊菌の除菌などが多いです。またオゾンは濃度によってはその効果が強くなるため、基本的には無人の夜間状態で使用が普通です。 ※有人時の使用の場合は空間濃度は0.1ppm以下であることが望ましいです。

YS2000-OZFSはハイパワー

本機（YS2000-OZFS）は、オゾン発生量が2g/hと多いにもかかわらず、オゾン濃度センサーを搭載することによりオゾンの発生を安全に制御（0.1ppm以下※変更可能）します。有人時の場所でも24時間安心してご利用頂けるよう開発された製品です。もちろん、オゾン濃度制御運転をOFFにすることも出来ますので従来どおりの無人での全開運転も可能です。

さまざまな使用環境に合わせて

配管直接注入型もラインナップ (YS1000-OZF-T・YS1000-OZFS-T・YS2000-OZF-T・YS2000-OZFS-T)



各部の名称

YS1000-OZFS



YS2000-OZF-T

仕様

形式	YS1000-OZFS	YS1000-OZF	YS2000-OZF-T	YS2000-OZFS-T
定格電圧	AC100V			
定格周波数	50/60Hz			
消費電力	65W		120W	
オゾン発生量※4	0~1000mg/h		1000~2000mg/h	
オゾン濃度運転	ON : 0.08ppm OFF : 0.10ppm (デフォルト) 8パターンの運転を選べます。0.1-0.08/0.08-0.06/0.06-0.04/0.04-0.02/ 0.02-0.00/0.01-0.00/0.20-0.18/0.15-0.13			
その他	濃度センサー寿命警報あり・連続運転切替可能 ※1・2段階高性能フィルター・ 複数台連結運転可能・アナログタイマー運転・無段階オゾン濃度調整ボリューム・ 大風量希釈ファン(96立米/時) ※2オゾンガスチューブ取出しタイプ ※3			
周囲温度・湿度	0~40℃、80%以下			
外形寸法	W430 × H350 × 150D			
有効除菌スペース	2000㎡(冬5℃) / 600㎡(真夏30℃以下) 天井高2.3m		4000㎡(冬5℃) / 1200㎡(真夏30℃以下) 天井高2.3m	
重量	16kg		30kg	

※1 YS1000-OZF・YS1000-OZF-T・YS2000-OZF-Tにはオゾン濃度センサー連動機能はありません。

※2 YS1000-OZF・YS1000-OZFSのみ

※3 YS1000-OZF・YS1000-OZFS以外

※4 標準空気において(5℃、湿度50%以下、1気圧)

タイマーおよびオゾン発生量調整ボリューム(無段階)も標準装備していますので、さまざまなシーンに合わせた運転が可能です。

- ※5 発生体に移動回転方式を採用。使用環境が良い場合、発生体のメンテナンスは3~5年以上不要です。(ポンプ、モーターなどはメンテナンスが必要です。) 有人時は0.1ppm以下にてゆっくり除菌脱臭を行なった場合の有効除菌脱臭スペース。浄化槽建屋など、アンモニアや硫黄系ガス、湿気などが特に多い環境ではオプションの高性能フィルターが必要になり1年に1度の放電部のメンテナンスが必要となります。2段階高性能フィルターは消耗品でお客様にて交換可能です。使用環境により寿命は大きく変わります。第1(50μm)、第2(0.01μm) オゾンセンサー無しも選べます。(標準はオゾンセンサー付になります。)
オゾン濃度センサー1年で交換が必要です。(お客様にて交換可能)
内臓のモーターは24時間365日の連続運転で1~2年の寿命となります。(間欠運転で3~7年)